

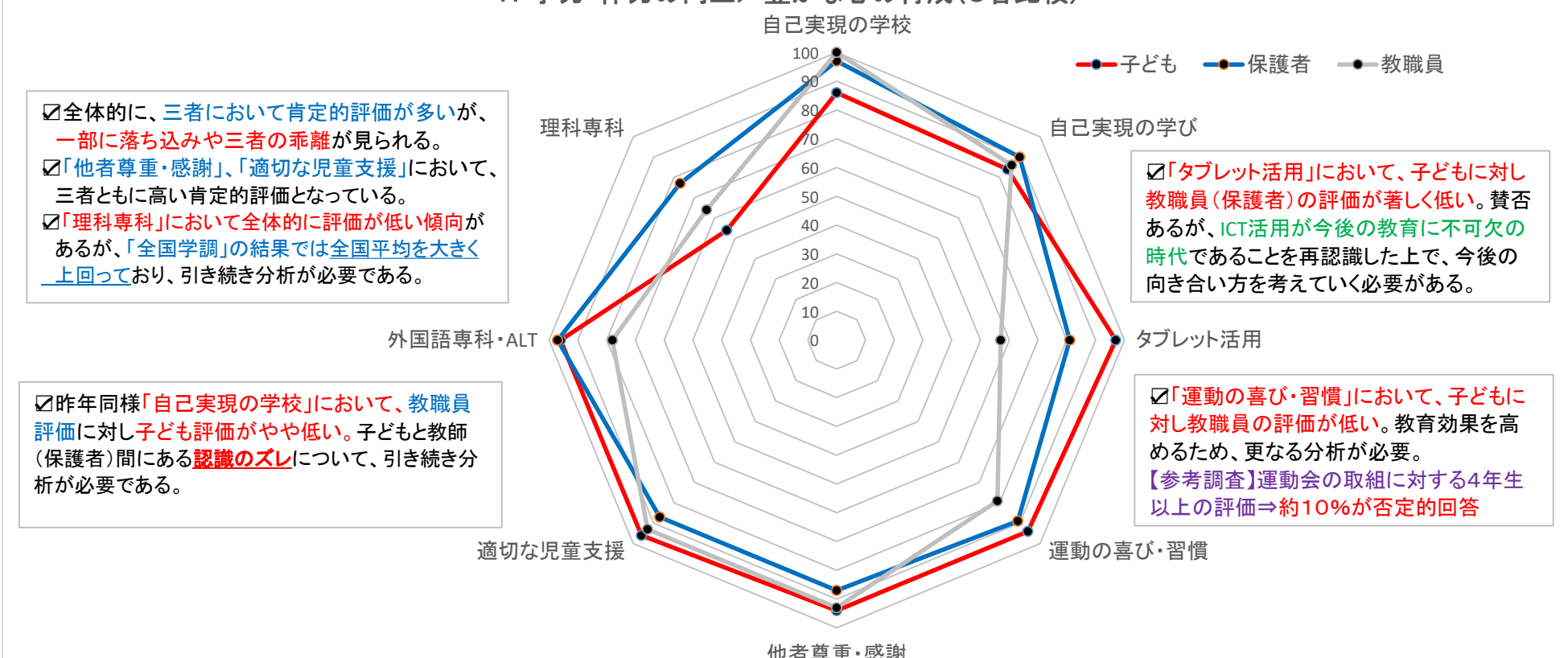
R 7系井小 学校評価（前期結果） 児童・保護者・教職員3者比較

★学校全体としての傾向を読み取るため、学年・学級ごとの結果等を掲載していません。

1. 学力・体力の向上／豊かな心の育成 （肯定的回答数の割合 % ＊概数表示） 青字：肯定的回答85%以上 赤字：肯定的回答65%以下

	自己実現の学校	自己実現の学び	タブレット活用	運動の喜び・習慣	他者尊重・感謝	適切な児童支援	外国語専科・ALT	理科専科
子ども	86	84	97	94	94	96	96	54
保護者	97	90	81	89	87	87	97	77
教職員	100	86	57	79	93	93	78	64

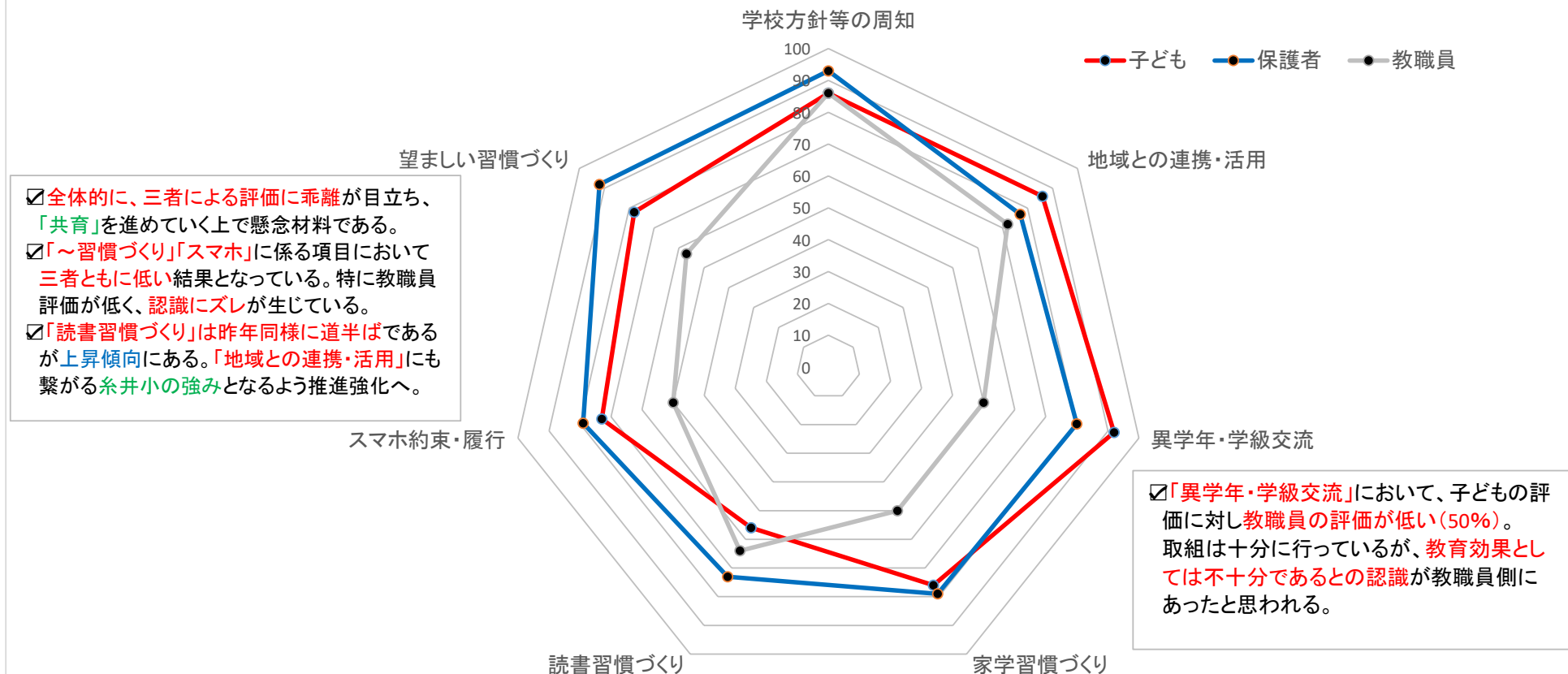
1. 学力・体力の向上／豊かな心の育成(3者比較)



2. 家庭や地域との連携 (肯定的回答数の割合 % *概数表示) 青字: 肯定的回答85%以上 赤字: 肯定的回答65%以下

	学校方針等の周知	地域との連携・活用	異学年・学級交流	家学習習慣づくり	読書習慣づくり	スマホ約束・履行	望ましい習慣づくり	
子ども	86	86	92	76	56	73	78	
保護者	93	77	80	79	73	79	92	
教職員	86	72	50	50	64	50	57	

2. 家庭や地域との連携(3者比較)



R7 系井小 学校評価(前期)～保護者の意見と学校の見解～

保護者様の意見(記述内容)を整理・要約し、学校の見解と併せて以下に掲載します。

【子どもの自己実現をめざす教育】

- (昨年同様)学年問わず仲が良く助け合いが出来るところが素晴らしい反面、(自立していく上で)大人
しい子が多い印象もある。
- 最近の子どもは圧倒的に経験が不足している。難しいことや出来ないことに対する自力解決力が育って
いない。社会人になって必要なコミュニケーション力が不足している(説明出来ない、話せない)人がとて
も多い印象。 $1+1=?$ ではなく $1+?=2$ のような教育も大切。
- 小規模校の利を生かし、学年・学級をまたいだ楽しいイベントがあってもよい。→異学年遊びを実施済
★学校から～小規模校の良さとして、お互いを理解し合っている子どもが多いようです。成長段階に応じて
通過すべきトラブルは生じますが、必要な経験である場合がほとんどです。一方、保護者記述にもあります通
り、コミュニケーション力(相手の話を正しく聞く・伝える、相手の立場を考えて伝えるなど)に課題があるとい
う実感があります。家族的な学校のため、「言葉足らずでも話が通じる」ことや「ネットやゲームの時間が多く
会話が不足している」ことなどが要因として考えられます。学校でも家庭でも対策を要する課題です。

【地域との連携・協働】

- 閉鎖的になりがちな学校空間を、地域に開かれたものにしていくとよい。(例:学校図書館の利用を地域
住民に広げ、地域交流の場として活用するなど) 生き生きと学ぶ大人の姿を子どもに見せる環境がある
とよい。また、幼児期に大人と学校を訪れる機会があると入学時の不安解消につながると思う。
- ※防犯等の面で難しさがあることは承知。
- ★学校から～この観点は、学校としても大切にしていきたいと考えています。現在、PTAと連携した全校読書
の取組において、希望する保護者(スタッフ)が図書館で読書支援をするなど新たな挑戦を始めています。
子どもや教職員から好評であり、多くの皆さんに協力していただけると幸いです。今後、防犯や教職員の
働き方の観点も踏まえながら、より良い形を一緒に模索していきましょう。
- ※系井小グラウンドで行われる盆踊りの継続についてもご意見がありましたが、町内会の行事であるため、
学校としての回答はできませんのでご容赦願います。

【生徒指導・特別支援教育など】

- (状況や先生にもよるが)子どもの思いや考えを十分に聞いてもらえず、否定的な言動をされるケースが
ある。必要以上に自分を責め、卑屈になる時があるため、もう少し寄り添ってくれたら有難い。
- ★多様な子ども達の意欲や能力をしっかりと高めてあげたいと考えています。できる限り、ご意見にあるような
状況にならないよう、教職員一同、学び続けていく予定です。そのためにも、「教職員が、教職員でなけれ
ばできない仕事」に集中できるように「働き方改革」の推進が重要であると考えています。

【番外編】学校の働き方改革に関する認知度(実態調査)

○働き方改革について、だいたい知っている・理解している～69%

△働き方改革について、あまり知らない・理解していない～31%

- ★「トイレに行く余裕すら無い」「休憩時間は無いに等しい」など、山積する学校課題への対応に追われてい
るのが教職員の実情です。子ども達と向き合う時間を確保するためにも、学校・家庭・地域が適切に分担
しながら共育を進めていくことが必要です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。